



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒  
(徳) 正しく判断できる生徒  
(体) 心身を鍛える生徒  
<No.3> 平成29年6月1日

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)  
866-5789 (相談室)  
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

### みんながしっかり根付いて欲しい

校長 今溝 良司

日本の和暦あるいは陰暦では、1月から12月までを【睦月・如月・弥生・卯月・皐月・水無月・文月・葉月・長月・神無月・霜月・師走】とも呼んでいます。それぞれの月の呼び方やその意味については諸説あるとは思いますが、今回は6月・水無月(みなづき)について考えてみました。

南北に長い日本列島は、梅雨の時期もそれぞれです。関東地方の梅雨の時期は、6月中旬から7月中旬が平均的です。もちろん梅雨時には雨の日が多く、天(空)にもう雨(水)が無くなってしまおうと思われることから水無月とも言われるそうです。私の子どもの頃は、5月の連休と言えば田植えの真っ盛りでした。田植え機による機械植えよりも、苗を数本ずつ手で植える手植えが主流でした。苗床で育てた苗が、水田に根付くには少し時間がかかります。その間には人の手で植え替えたり、田んぼの水の量を調節します。田植えが終わり、ひと月程すると入梅の時期を迎えます。ある時、私の祖父から水無月の解釈について聞いたことがありました。雨がたくさん降って、天に水が無くなってしまおうからではなく、田んぼに植えた苗がみんな根付くことから「みんなつく」(みなつく)としていたようです。農家ならではの解釈ですね。

さて、生徒の皆さんはそれぞれ新しい学年に入学・進級してから間もなく2か月が経ちます。保護者の方の愛情や先生方から指導の手によって、白幡中という田んぼに手植えされた苗は、立派に地に根を張り、白幡中の生活習慣や学習習慣が身に付いて来たことでしょう。そうであることを大いに期待するところですし、おそらく多くの生徒は成長の足掛かりを実感(やっつけそうだと感じる)していることと思います。しかし中には、まだそれぞれの学年に応じた行動がとれていない生徒も見かけます。授業はどうでしょうか? 態度・あいさつ・持ち物・宿題・ノート整理等、常に整えていなくてはならないことを毎日できていますか。毎日毎日の繰り返しが自分の中に深く根を張り、進歩・成長・変貌の原点となります。さあ、いよいよ学校総合体育大会が始まります。何事も一気に成し得ません。コツコツとひとつずつのプレーの積み重ねが結果につながります。心を込めて丁寧に深瀬とプレーしてください。